



お客様の情熱を掻き立て、 価値を回復する

日産自動車株式会社
最高執行責任者

志賀 俊之

日産は、今年、新しい中期経営計画「日産GT2012」を発表いたしました。この日産GT2012の「G」は成長(growth)、「T」は信頼(trust)を意味しています。日産は、信頼(trust)がお客様との関係において基礎となるものであると考えています。この信頼は、品質、安全、環境といったことにより築かれるものです。この信頼に対するコミットメントを達成していくことが持続的な成長(growth)につながると考えております。この信頼という基礎を強化し、社会に対して目に見える形でこのコミットメントを達成することが「日産GT2012」の中核になっています。日産はこれからも引き続き環境に対する責任を果たしつつ、同時に楽しいモビリティを社会に提供していきたいと考えております。日産GT2012には3つのコミットメントが含まれています。その概要をご紹介します。

1. 品質領域でリーダーになること

感性に訴える品質や魅力といった商品の品質、そして信頼性に関する商品品質を高めていくことはもとより、日産の販売会社での営業やサービスの質、日産というブランドの質、そしてマネジメントの質を改善していきます。品質の向上については従来より継続的に活動が続けてきております。これまでの商品品質向上活動の成果の一例として、当社的高级車ブランド「インフィニティ」が米

国におけるJ.D.パワー社の初期品質調査にて2位となりました。日産GT2012ではさらに活動の範囲を広げて品質の向上に努めます。

2. ゼロ・エミッション車でリーダーになること

当社はゼロ・エミッションのクルマを手頃な価格で量販することこそが、自動車メーカーとして実行できる最も重要な取り組みであると確信しています。この考えのもと、2010年度に米国及び日本に電気自動車を投入します。当社が発売する電気自動車は既に市販されている車両のボディを使用せず、電気自動車用に専用にデザインされ、専用に開発された車両となります。そして2012年にはグローバルに電気自動車を量産し販売を始める予定となっています。この夏に電気自動車の実験車両を公開し、ご試乗された方からは、その動力性能につい



電気自動車実験車両



リチウムイオンバッテリー

て高い評価をいただきました。今後、市販化に向けて開発スピードを加速させていきます。

電気自動車実用化に向けての課題の一つは電池です。日産は日本電気と合弁にてオートモティブエナジーサプライ社を設立し、自動車向け高性能リチウムイオン電池の開発と生産を行ないます。また、製品の開発のみでなく、日産-ルノーアライアンスとして、国や都市、企業とのパートナーシップを結ぶことでゼロ・エミッション車普及に努めていく所存です。すでにポルトガル及び米国テネシー州とのパートナーシップ締結を行なっており、神奈川県とは電気自動車試験プロジェクトの実行可能性に関する検討を開始することに合意しています。

さらに、ルノー・日産アライアンスとして、イスラエルとデンマークの電気自動車プロジェクトに協力することに合意しています。

3. 2008年度から2012年度の5年間で売上高を平均5%増大させること

売上高の増加を支える商品投入計画では、2012年までにグローバルに60の新型車の発売を予定しています。また売上高の増大については、事業の拡大と市場の拡大が重要です。

<事業の拡大>

事業の拡大については、当社的高级車チャンネルであるインフィニティ事業の拡大、小型商用車事業の拡大、そして価格を抑えたグローバルエントリーカー事業の開始があります。

インフィニティチャンネルは既に米国、台湾、韓国、ロシア、中国、ウクライナで展開されており、この10月には欧州でも立ち上がりました。今後もグローバル展開を推し進めていきます。

小型商用車事業は着実に事業を拡大しています。日産GT2012では、2012年度の売上高を2007年度の実



インフィニティFX50

績に対し倍増させるとともに、グローバルでトップレベルのお客様満足度を達成することをコミットメントとして設定しています。また、インドのアショクレイランド社と小型商用車関係の合弁企業3社（アショクレイランド・日産ビークル社、日産・アショクレイランドパワートレイン社、日産・アショクレイランドテクノロジーズ社）を設立など、小型商用車事業は着々と進んでいます。

グローバルエントリーカーについては、インドのバジャージ社と開発、生産、および販売を行なう合弁企業を設立することで基本合意を行なっています。

<市場の拡大>

市場の拡大については、インド、ブラジル、中国、ロシア、中東といった新興国での事業を軌道に乗せていくことが重要です。日本、北米、欧州以外の一般海外市場での販売構成比は既に30%を超えており、新興国を含む一般海外市場の重要性は非常に高まっています。

現在、自動車業界は、原材料価格の高騰、原油価格の高騰、為替レートの影響などにより、厳しい状況にさらされております。日産は、日産GT2012のもと、クルマに対する熱意による楽しいモビリティと、品質・安全・環境対応によるお客様との信頼の構築を加速させていきます。皆様方の一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



新型ティアナ